

令和6年度 富山県道路安全・円滑化検討委員会 議事概要

開催日時：令和6年8月27日(火) 14:30～16:30

開催場所：富山河川国道事務所 3階 大会議室

出席者：富山国際大学 名誉教授

富山大学 都市デザイン学部教授

一般社団法人富山県自動車会議所 専務理事

一般社団法人富山県トラック協会 専務理事

公益社団法人富山県バス協会 専務理事

富山県タクシー協会 専務理事

公益財団法人富山県交通安全協会 専務理事

株式会社北日本新聞社 編集局 社会部長

中日本高速道路(株)金沢支社 高速道路事業部 道路管制センター 交通管制課長

富山県警察本部 交通部 交通規制課長

北陸信越運輸局 富山運輸支局長

北陸地方整備局 富山河川国道事務所長

富山県土木部 道路課長

富山市建設部 建設政策課長

高岡市都市創造部 道路整備課長

議 事：

＜渋滞関係＞

- (1)渋滞対策の進め方
- (2)これまでの検討経緯
- (3)渋滞状況のモニタリング
- (4)令和5年度 主要渋滞箇所 解除・追加判定結果
- (5)令和6年度 主要渋滞箇所 解除・追加候補箇所の抽出
- (6)主要渋滞箇所の評価手法の見直し
- (7)ピンポイント渋滞対策
- (8)局所渋滞対策の検討
- (9)TDM(交通需要マネジメント)の取り組み
- (10)災害時の交通マネジメント
- (11)今後の進め方について

＜事故関係＞

- (1)これまでの検討経緯
- (2)富山県の交通事故状況
- (3)委員からの意見に対する回答
- (4)令和6年度 事故危険区間 解除箇所の選定
- (5)令和6年度 事故危険区間 追加箇所の選定
- (6)令和6年度 事故危険区間数
- (7)今後の進め方
- (8)ゾーン30プラスの取り組みへの報告(氷見市より)

議事要旨

＜渋滞関係＞

(1)令和5年度 主要渋滞箇所 解除・追加判定結果

- ・昨年度、解除候補として抽出した1箇所(安楽寺(西)交差点)については、令和6年のゴールデンウィーク期間において交通混雑が確認され、今後、改めて現地調査を行うため、現段階での解除判定を保留とする。
- ・上記に伴い、富山県における主要渋滞箇所数の変動はなし。(全 179 箇所)

(2)令和6年度 主要渋滞箇所 解除・追加候補箇所の抽出

- ・今年度新たに抽出した解除候補4箇所(婦中大橋接続部(東)、堀川小泉町交差点、枇杷首交差点、定塚交差点)および追加候補2箇所(呉羽本町交差点、悪王寺交差点)については、今後、道路管理者による現地確認等を行い、次回委員会で解除および追加について議論を行う。

(3)主要渋滞箇所の評価手法の見直し

- ・今後、事務局案に基づき、主要渋滞箇所を対象として評価手法の見直しを行い、見直し前後の抽出基準該当状況等の検証を行った上、次回委員会で見直し是非判断の議論を行う。

(4)ピンポイント渋滞対策

- ・令和3年度よりピンポイント渋滞対策の実施および検討を進めている「(主)小矢部伏木港線 高岡北IC入口交差点」については、令和6年能登半島地震の影響により、交通状況が大きく変化したものと想定されるため、今後、改めて現地調査を行い、追加対策の必要性等を検証する。
- ・新規対策候補として選定した「一般国道 156 号 清水町交差点」については、今後、現地調査により渋滞要因を特定し、対策方針および対策内容の検討を進める。

(5)局所渋滞対策の検討

- ・今後、対策候補箇所の選定方針等に関する検討を進め、次回委員会で議論を行う。

(6)TDM(交通需要マネジメント)の取り組み

- ・データ分析結果を踏まえ、今後、TDM施策実施による交通量の削減目標を設定する他、車両の出発地や目的地、走行経路等を分析することで、行動変容を促す対象や具体的な施策内容等の検討を進める。
- ・TDMと併せてモビリティマネジメントにも取り組むことで、より高い効果が得られると考えられるため、引き続き検討を進める。

(7)その他

- ・重要物流道路における交通アセスメント実施のためのガイドラインについて概要を説明し、商業施設等の沿道立地による渋滞について、立地前の計画段階から立地後の追加対策に至るまで、交通アセスメント実施箇所の渋滞状況をモニタリングしていくことや対象となりうる事例の情報提供について依頼した。

＜事故関係＞

(1)令和6年度 事故危険区間 解除・追加箇所の選定

- ・事故危険区間 155 箇所のうち 36 箇所を解除する。
- ・事故危険区間として新たに 13 箇所を追加登録する。
- ・上記に伴い、令和6年度富山県事故危険区間は、全 132 箇所とすることで委員から承認を受けた。

(2)ゾーン30プラスの取り組みへの報告(氷見市より)

- ・「氷見市泉の杜地区ゾーン 30 プラスの整備計画案」について氷見市から報告を行い、委員から承認を受けた。